

地球のいのちの営みを根底に据えた
共に生き合うコミュニティー創造と実践の情報を発信する



いのちの森通信



財団法人
いのちの森
文化財団



Vol.3
2007.APR.

平成 19年 4月 10日発行
編集 山下 薫

発行 /財団法人いのちの森文化財団 〒380-0888長野市大字上ヶ屋 2471番地 2198 026-239-0010 FAX 026-239-0011
ホームページ http://inochinomori.or.jp Eメール zaidan@inochinomori.or.jp

共に生き合う、今に生きる、いのちを感じる、
自分を見つめる、生き方を模索する...
青少年の育成・自立支援・社会復帰支援のための
体験を通して共に学び合う拠点を設定致します

いのちあるものすべてが仲間同士

いのちの森文化財団は、「地球全体のいのちの営み」を根底に据え、いのちあるものすべてが仲間同士であるという意識を創造すること理念を定めて設立させて頂きました。この理念は競争が激化する現代資本主義社会の中において、きれいな事に過ぎるとお感じになる方もいらっしゃるかも知れません。しかし、地球の限界が目前にきている現在、自分さえよければ、自分の家族さえよければ、自分の国さえよければということはありません。得ないことが明らかになってきています。競争社会に生きてきた私たちは、意識を180度転換せざるを得ない状況にきています。

経済の豊かさ
自殺者の増加

競争が激化したのは戦後、欧米諸国を目標として経済成長に邁進した時期と重なります。戦後の日本社会は餓死者が出るほど貧困状態でしたので、豊かな社会に向けて経済成長を目指したのは当然が望んだことだと思えます。そして日本は高度経済成長を達成し、現在ではGDP(国内総生産)でアメリカに次いで第2位の経済大国にまでなっています。しかしながら、日本国民が本当に豊かになったかといえば、平成17年の自殺者は全国で32,552人と平成6年と比べて15倍以上と急増しています。自殺者の家族の悲しみや周囲の人々への影響は大変深く、心に残ります。さらには、自殺願望を持つ自殺予備軍は、300万人とも言われています。

心の豊かさが重要

このように私たちの日本社会は、経済や物質的には豊かになったと言いますが、心の豊かさが置き去りになってしまっているといわざるを得ません。このことをしっかりと自覚して、環境問題や高齢化や国の債務増加の問題などに対しても、



娘との苦悩の生活の中で
幸か不幸か、私は昭和9年に娘を出産したのですが、出産時の事故で娘は前頭葉損傷の障害を負ってしまいました。この娘は、自力で歩くこと、食べることに、話をする、排泄が生産できないことなどを医師に告げられ、途方に暮れました。この子を施設に預けたくはない、しかし、そのためには自分余儀なく娘に付き添う生活をしていく。この子とどう生きていくのか、自分の生きる意味とは何なのか、と日々葛藤と苦悩の中に生きてまいりました。禅を中心に神道、キリスト教と答えを求め続けてまいりましたが、何かに依存することではなく、真なる自己を見いだすことこそ大切なことであると思いに至りました。そして、将来の不安などは自分自身が作り出していることに気が付き、娘と共に生きていくことに決意したのです。娘は、去る平成19年4月3日に2回目の誕生日を迎えることができました。それは多くのみなさまに支えられて来た日々の連続でしたが、その中で、「人生について深く知りたい」など悩みを抱えた若者たちが集まってくるようになってまいりました。

青年たちと共に生きる

私たちが、娘のおかげで競争に勝ち抜く生き方から共に生きる



娘と共に生きる日々

る生き方に転換せざるを得なかったのです。そのおかげで、共に生きるすばらしさを教えられました。
そして、14年前の平成4年に共に学び合うスペース「水輪」を開設させていただき、養生塾などの講座開催や、のべ約300名ほどのワーキングスタディー参加者を受け入れ、共同生活を通じ、娘、息子のようになんか開け、生きてまいりました。私からみれば、自分で歩けるし、食べられるし、話もできるのに自分の心の癖のせいで、引きこもりをしたり、アルコールに依存したり、拒食に走ったりと自らで、自分を悪くしている。本当にもったいないと強く思うのです。私には、それがしたくてもできないのです。本当から、今は、もったいないという言葉が文化となっている時代ですが、ものだけではない、心が貧しくなっている状態も本当にもったいないと思つたのです。

渇いた心を潤す
ひとしずく

そして、現在スタッフ、研修生が6名、長期ワーキングスタディー実習生が4名とスタッフルーム「早穂理庵」も満員状態となり、受け入れスペースの確保が必要となつてきている状態です。また、スタッフも徐々に力を付けてきて、ワーキングスタディー実習生を増やしていきける状態になってまいりました。力を付けてきても、完全に任せるのには力不足なので、今後10年を目処に私たちの実践と学びを受け継いでいただき、より公共的な活動としていきたいと考えております。そして、この共に生き合うことを体験していった卒業生が、現代の渇いた心を潤してくれる一滴となることを願って、青少年育成センターを設立することを決意致しました。ぜひとも、みなさま、ご支援ご協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。日本の未来を担う若者たちをぜひ心援してください。

生から死まで共に生き合うコミュニティー空間の創造 いのちの大学構想 青少年育成センター 「いのちの森の学校(仮)」 設立に向けて

塩澤みどり
(いのちの森文化財団理事長)



ワーキングスタディーを通じつつ、
摂食障害を乗り越える学びの日記



3月16日ぶどう植樹祭にてスタッフ、ワーキングスタディー参加者、ご協力頂いた皆様

彼女は、本年1月に過度の拒食とパニック障害、うつ病の症状があり、その病を克服したいと自らで望んで申し込まれ、現在も学び続けています。1月5日、前向きに生きるのに慣れてないよ。眠ったりに、食事したり、ありとあらゆる

ゆることに支配されているようで落ち着かない。朝、お父さんとケータイでメールしたけど、「帰りたい、むかえに来て」ばかり言っていました。下剤飲んでしまった。
2月8日 今日、坐禅に行つて少し気持ちが落ち着いた。坐禅に行く前は、「今日はもう疲れた。行きたくない」と駄々をこねていたが、呼吸法をしていると少し「無」の状態に近づけたような気がする(1ミリくらいだが)。きつと一心に呼吸になりきるからだろう。
4月5日 38キロになった。普通に近づくと努力をしない。食事の時にひじをつかない。えり好みしないでちゃんと食べられるようになりたい。真善美が大切にしたい。先生は言う。美意識を育てたい。自分自身がまがっていったから生理も来ない体になつてしまったんだと思つてもっとつけて、43キロくらいになれば、もっともっと周りの世界も違って見えるかなあ。40キロ以上になるなんて7キロの時は考えてなかったけど、努力すればちゃんと増えてくるんだ。そんな素直で前向きな体の声に耳を傾けたい。(K・I)

青少年育成センター「いのちの森の学校(仮)」概要

場所	農地に隣接するグリーンオアシス南東の一角
施設	木造2階建 2階: 宿泊部屋(全6部屋/定員18名) 1階: 多目的スペース(農作物加工、園芸作業、休憩、食事他) 地下: 貯蔵スペース
対象	青少年(いのちを中心とした生き方を模索したい・学びたい方、悩みを解決したい方)
事業	短期・中長期ワーキングスタディー受け入れによる、社会学習支援・自立支援・社会復帰支援
内容	スタッフ、ワーキングスタディー実習生との共同生活による共同学習、清掃と通じて心を磨く講座、しつけ教育、いのちとつながる自然農ワーク、講座企画サポートワーク、講話、クッキングワーク、坐禅、呼吸法、グループミーティング、カウンセリング、ボディセラピーなど 運営母体につきましては、新たな法人設立も視野に入れて検討しております。

いのちの森文化財団 青少年育成センター設立 特別基金のお願い

期間 平成19年4月1日~平成21年3月31日
目標額 2,500万円

特別基金お振り込み先

郵便振替口座 00520 3 42181 名義 財団法人いのちの森文化財団
郵便振込用紙ご利用の方は、「特定事業寄附」とご記入下さい。
八十二銀行本店営業部 普通口座 1093531 名義 財団法人いのちの森文化財団

みなさま、よろしくお願ひ申し上げます



【特集】全4回シリーズ 第2回

一人一人のいのちが光輝く調和の時代を目指して...



今回は、医療、教育、心、精神の分野において、いのちの輝きを根底に据え、各分野第一線でご活躍にみなさまに実に率直にご提言いただきました。月尾先生の第2回は次回に掲載させていただきますので、お楽しみに。ご意見、ご感想また、各氏にご質問がありましたら、いのちの森文化財団事務局「いのちの森通信 編集部」までお寄せください。次号以降でご紹介させていただきたいと考えております。

医師と患者のコミュニケーションがよくなるだけで、ガンはよく治るようになりますよ

日本ホリスティック医学協会が今年で二〇周年を迎えます。そもその始まりはアメリカのアンドルー・ワイル氏（現在はアリゾナ州立大学医学学校総合プログラム部長）の『人はなぜなるのか』

を読んだ東京医大の学生さんたちが大学のなかにつくった「ホリスティック医学研究会」でした。一九八五年のことです。私が、西洋医学に中国

医学を合わせた、いわゆる中西医統合によるがん治療を旗印に病院を開いたのが一九八二年。当時は、まだ、がん治療に中国医学を導入しようなんていうのは余程変り者に見えたのでしよう。ある日、学生さんたちの代表である降矢英成さんと山本忍さんがやって来て、研究会で話をしてくれ

たといいます。お二人とも今では協会の中心的役割を果たしています。これが私とホリスティック医学の出会いです。

協会生みの親 アンドルー・ワイル氏 そんな縁で協会の設立に参加しました。設立が一九八七年。第一回シンポジウムが一九八八年の八月。八で揃えたのは誰の発案だったか、なかなか判らな

い。テーマは「ホリスティック医学の課題」。演者は大熊由記子、帯津良一、多田政一、中川米造、福田俊作、山下剛の諸氏。すでに故人となられた方もいて、いまでも親しく付き合っているのは福田俊作さんだけとなりました。

その福田俊作さんの主宰する穂高の養生園で医師を対象にした、アンドルー・ワイル氏のセミナー

魂をどれだけ尊重できるか 帯津良一（帯津三敬病院名誉院長）



が開かれたことがあります。二〇人ほどの医師、名古屋の恒川さん神戸の服部さん、埼玉の丸井さんなどに、私もコメントターとして参加しました。

協会生みの親ともいふべきワイルさんがはじめて協会の行事に姿を現したのは一九九〇年の第三回シンポジウムでした。『人はなぜなるのか』が日本の医学を憂う人々に与えた衝撃はかなりのものだった。そして、このときで、会場が熱気に包まれていたのを憶えています。

医療の80%がミステリーとマジック 次の出会いが穂高養生園だったと思いが、いつか

その通りだと思えました。メンツとは医学の方法のことですか、いわゆる医学のことをいいます。

医療の八〇パーセントがミステリーとマジック。目に見えない世界です。そんなあーと思われかもしれません。長い間のがん治療の世界での経験から、そう思うのですから、それほど間違っているとは思いません。医学の担う部分は、わずかの二〇パーセントですよ。だから医療



先生の笑顔で患者さんも安心する養生塾の「車座交流会」

その医師のもつ科学の価値を決定するものは... 医療とは八〇パーセントが目に見えない世界で、残りのわずかに二〇パーセントが医学であることを医師は肝に銘ずべきですよ。そうすれば誰だって謙虚になりますよ。

そうして、医師と患者のコミュニケーションがよくなるだけで、がんはよく治るようになりますよ。最後にノーマン・カズンズの言葉を紹介します。『究極的には、人間の魂をどれだけ尊重できるか、その医師のもつ科学の価値を決定する。』



帯津先生の新著、共著 五木寛之氏との

おびつりつよいち... 医学博士、帯津三敬病院名誉院長。日本ホリスティック医学協会会長。日本ホリスティック医学協会理事長、調和道協会会長。いのちの森文化財団理事。水輪の会特別顧問。東京大学医学部第三外科、都立駒込病院勤務を経て八二年埼玉県川越市に帯津三敬病院を設立。院長となる。医療の東西融合という新機軸を基に、ガン患者などの治療に当たっている。著書『ガンを治す大辞典』（一頁書房）他多数。

子供達は、自分からは親に相談しようとはしないのであるが、早く親が自分のこの苦しみに気がついてくれて、救いだしてくれないかなあと願っているののである

三つの心得

子供の態度に異常を感じたり、子供が問題行動をとり始めた時、親や先生や大人はどのように対応したらよいか。基本的な心得がないければならないことが三つある。

第一番目は、子供は大きな問題を抱えれば抱えるほど、めったに親や先生に相談しないものだということを知っていなければならぬ

なぜ子供は問題、悩みを親に相談しないのか。それは問題や悩みは、原理的には人間を成長させてくれるために出てくるものである。問題や悩みは、自分の力で乗り越えようとする努力と実力は出てくるから、命が親に相談し助けを求めることを子供にさせないの

しかし、子供の理性は未熟だし、子供は世間を知らず体験も少ないので、なかなか問題を乗り越える答えを出すことが出来ないで苦しむのである。そこで子供達は、自分からは親や先生に相談しようとしないのであるが、早く親や先生が自分のこの苦しみに気がついてきて、この苦しみを自分から救いだしてくれないかなあと願っているの

少しでも子供の様子に気になる所を発見したら...

学校におけるイジメの問題でも、子供が怪我をして家に帰ってきた時、親が「この傷どうしたの」と聞いても、子供は「イヤー別に。ちよっと転んで怪我しただけだから」と答えてしまつた。

済ませてしまったら、子供の心は落胆し、親への信頼や尊敬の念が消え失望するのである。そして子供は苦しみから逃れる為に、自ら解決策を考えだすことが出来ないで自殺してしまうのである。だから親は、少しでも子供の様子に気になる所を発見したら、子供から助けを求められなくても、親自身の判断で行動を起こし、時によっては探偵社に依頼して、子供の身辺を調査してもらって、必要とあらば、親の方から積極的に関与し、手を差し伸べることをしなければならぬ。その時、子供はやっぱり親は有り難い、自分の苦しみに気がついてくれて助けてくれたということ、親の真実の愛を命に感じて喜び、親への信頼と尊敬が深まることになるのである。

問題を抱えた子供への対応



芳村思風（感性論哲学創始者）

非行に走った子を非難してはならない 第三番目は、非行に走った子を非難したり叱ったり、非行をやめさせようとしてはならないということである。それは逆効果で、かえって子供を悪くしてしま

う。大切なことは、非行に走らざるを得なくなつた辛さや苦しさを親が知ってあげて、そんなことがあつたのか。辛かつたろうねえ、そんなことがあつたら、

よむららしう... 米国イオンド大学哲学名誉博士。日本哲学会会員。名城大学講師。いのちの森文化財団理事。昭和十七年、奈良県生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業。学習院大学大学院博士課程を中退し、「思風庵哲学研究所」を設立。感性論哲学創始者。人間観の革新」致知出版等多数。

【特集】全4回シリーズ 第2回

今、私たちは何を見つめ、考えて、行動するのか...

現代社会には、人間のいのちや心よりも「お金」や「モノ」や「効率」が優先されてしまう本来からずれた考え方と現実が蔓延してしまっています。諸問題の根源には、この本来からずれた考え方があると思われま...



言語や技法も、このよ様な生命的交信の場を母壤にしてこそ、予想外の気づきや、新たな物語りの展開へと通じて行く...

真の対話に宿る癒しのちから

前回、現代社会の歪みの病根として、対話不在がある旨を指摘すると共に、真の対話には、本来的な癒しのちからが宿っていることを述べさせていただきました。

事例 35才の摂食障害の女性

この方は、いわゆるキャリアウーマンでしたが、夫婦関係や職場内対人ストレスを背景に、次第に拒食傾向に陥り、多くの医療機関を転々してきまし...

縁あって、小生のメンタルヘルス外来を訪れたときは、痩せの問題より、希死念慮が主訴でした。自ら「死にたい病」と称し、まさにいつそれを実行してもおかしくない雰囲気を感じ、薬物療法をはじめとする様々なアプローチも効無...

予期しない展開

入院後も、治療的関与には全く無関心を通し続ける

対話に潜むちから

- ある事例を通し改めて学んだこと -

異 信夫 (元信州大学医学部助教授)



治療とは、「生体の自己治癒力」を抱える場を「設定すること」です。ですから、本質的には関わりがあらゆる精神療法の全てです。さらに付け加えれば、関わりは「ノンバーバル」(非言語)水準であり、言葉は枝葉末節です。と述べています。

とここで、精神分析医、神田橋治氏も、身体的治療の場合と同じで、精神の治療の根本のところは、その主体の自己治癒力により行われるのです。そして、専門家が「治療場」を設定することです。

関わりの幹はノンバーバル

この消息は、人為的計らいの無い、いわば「存在」と「存在」といったレベルでの無心の交信に、予期しない展開の可能性が潜在していることを、伝えてもいまいしよ。

なか、4、5日目頃、急に表情を和らげ、「ニコニコ」と今一度、生きてみる気になりました。と述べられたのは、まさに晴々のハレキでした。尋ねますと、病院食にもかかわらず、ご本人の体調と好みにピッタリの心づくしの個人食を前にしたのが、そのきっかけだったようです。



異先生は、いつも実践的で奥が深いお話をして下さいませ

いのちの次元での交信

さらに、言語的な意識活動が、合理的モノの世界を主要舞台とするのに対し、いのちの次元での交信は、基本的に言語化以前の波動レベルの作用によって営まれる点にも、改めて注目しておきたいものです。

と同時に、モノ的、操作的な態度の発信自体が、反生命的、非生命的であることも、浮き彫りになってまいります。それだけに、面接者の「いのちの理」(ことわり)に随順するあるがままな姿勢こそが、クライエントの生命次元に浸透し、更にその生命次元の開示は、面接者側の解放も促すといった、相互浸透的な磁場の醸成を通じてゆくといえましよう。

治す医者という立場を卒業

なお、前述事例を経験したころ、嗜癮行動関連の旗手、斎藤孝氏、及び統合失調症に対する自助活動のメッカ、へびの家の家、で活躍中の、川村敏明氏の含意深い発言に

たつみのぶお・医学博士。元、信州大学医学部精神医学教室助教授。現在、信州大学病院メンタルヘルス外来専任医。上海交通大学医学部客員教授。長野県産業保健推進センター基幹相談員。日本・欧州サイコロセラピー資格認定。いのちの森文化財団理事。専攻：精神病理学・精神療法学。著書「心理療法の本質」(日本評論社)他。



直接的ぐり合う機会がありました。斎藤氏は、「治療者自身が無力感に徹することこそ、なによりも基本」と述べ、又、川村氏は、「私は、良い医者とか、治す医者という立場をすでに卒業しました」と、語っています。ともに、積年の本格的な実践を通じて、自ずと到達された境地ともいえるだけに、小生にとっても胸におちる至言でした。

苦しんでいるあなたの気持ちを聴かせてください

一宮修(カウンセラー)

インターネットでのテレビカウンセリングを受け付けます。青少年の方、パソコンのスカイプ(注)でお話をしませんか。内容は、対人関係や自分自身の心理相談や就職に関することなど、なんでもOKです。

「理由」よりも「苦しい、つらい、悲しい」という気持ちそのものをお話しください。少ずつ心が軽くなっていくことでしょう。ご自分の気持ちを十分に話してください。わたしは、あなたの気持ちを大切に聴きます。問題の解決の糸口は、あなたの中にやがて自然と生まれてくるでしょう。

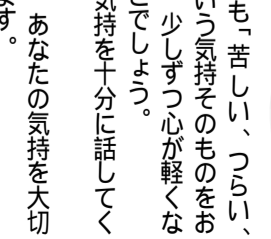
気持ちそのものを話してください

自分の気持ちを話すとすると、はじめはいろいろと抵抗があるかもしれませんが、特に無口な人はなおさらでしょう。大事なことは、自分の気持ち(感情)を話すことであって、気持ちの説明ではありません。

このみやあさむ・1957年生。ユング派カウンセラー、キャリアコンサルタント、ケアリスナー。日本箱庭療法学会会員、高知心理療法研究所所員、日本キャリア開発協会(CDA)理事。(財)いのちの森文化財団役員。20年間わたるカウンセリングの経験から、「癒しは心を聴くことに始まる」という哲学で、心理療法の世界に「ケアリスナー」を創設する。心理カウンセリング、瞑想の実践と、ユング心理学、人智学に親しむ一方で、ぶどうの新品種開発による農業経営者という異色の実践家。高知県在住、一宮観光ぶどう園「経営」。

お申し込み方法 以下の(1)~(10)にご記入の上、Email FAX、郵送にていのちの森文化財団事務局へお申し込み下さい。詳細をお知らせ致します。申込先 〒380-0888 長野市大字上ヶ屋 247番地 2198 FAX 026-239-0011 Email zaidan@nochinomori.jp (1)氏名 (2)年齢 (3)性別 (4)住所 (5)電話/FAX (6)携帯電話 (7)Email (8)職業 (9)申し込みのきっかけ: 通信/インターネット/紹介者/その他 (10)相談したい内容 (注)スカイプとは、世界中への無料通話を可能にするソフトウェア。スカイプ社のホームページからダウンロードできます。ソフトウェア、使用料、通話料が無料。設定も簡単なことから、現在、全世界でダウンロード数4800万人を超えています。

「理由」よりも「苦しい、つらい、悲しい」という気持ちを大切に話してください。わたしは、あなたの気持ちを大切に聴きます。問題の解決の糸口は、あなたの中にやがて自然と生まれてくるでしょう。



2007年度いのちの森文化財団主催事業

～一人一人のいのちが光輝くために～

社会教育事業	実践教育講座 講師 芳村思風 先生 感性にもついたところに働きかける教育論を学びます	2月 3日 ~ 4日 4月 14日 ~ 15日 6月 9日 ~ 10日	10月 13日 ~ 14日 12月 15日 ~ 16日	
	いのち学 講師 帯津良一 先生 心といのちの場に目を向ける医療の姿勢を学びます	3月 23日 ~ 25日 5月 11日 ~ 13日 6月 1日 ~ 3日 7月 20日 ~ 22日	9月 7日 ~ 9日 11月 16日 ~ 18日 12月 7日 ~ 9日	
	養生塾 講師 帯津良一 先生 帯津先生との車座交流会など自然治癒力を高める実践合宿です	3月 23日 ~ 26日 5月 11日 ~ 14日 7月 20日 ~ 23日	9月 7日 ~ 10日 11月 16日 ~ 19日	
	メンタルヘルス講座 講師 巽 信夫 先生 メンタルヘルス外来専任医の巽先生から人を癒す力と人間力を学びます	4月 20日 ~ 22日 6月 1日 ~ 3日 8月 24日 ~ 26日 10月 19日 ~ 21日 11月 30日 ~ 12月 2日	2008年 2月 15日 ~ 17日	
	ホメオパシー講座 講師 細谷律子 先生 臨床の現場で、数多く実践を積まれた細谷先生からホメオパシーのセルフケアを学びます	10月 19日 ~ 21日 12月 7日 ~ 9日 2008年 2月 1日 ~ 3日	2008年 4月 4日 ~ 6日 6月 6日 ~ 8日 8月 1日 ~ 3日	
	内観セミナー / 内観研修 神渡良平 先生・塩沢研一 人間関係から自己を見つめます	7月 5日 ~ 8日 / 【随時開催】 内観研修は随時行っております。基本は7月8日ですが、短期も可能です。お問い合わせ下さい。		
文化事業	スーザンオズボーン ボイスセミナー 歌えばいのちが癒される 歌えばいのちがよみがえる	ピギナークラス 9月 15日 ~ 17日 アドバンスクラス 9月 22日 ~ 24日 オリンピック、パラリンピックに出演したスーザンの歌声は世界に響く		
	ウォンウィンツァン ワークショップ ピアノコンサート ありのまま、そして自分らしさを取り戻すワークショップ	ワークショップ 10月 6日 ~ 8日 コンサート 10月 7日 ゆったりと、そして繊細な美しいピアノの音色と横になってリラックスしながら聞けるコンサート		
	こけ玉グリーンアート セラピー 深緑のこけ玉は宇宙観を感じさせ、私たちを癒してくれます	【随時開催・日帰り・宿泊】 日程はお問い合わせ下さい 山野を散策しながら自分の好きな植物をこけ玉にしてみよう		
青少年育成事業	リーダーシップワーキング スタディーセミナー 共同生活とワークを通して、人を導くリーダーシップを学びます	【随時開催】原則 1週間以上 日程はお問い合わせ下さい ワークスタディー学（人間力、洞察力など）からリーダーシップを学びます		
	ワーキングスタディーステイ 共同生活とワーク、坐禅などを通して、自己の課題に取り組みます	【随時開催】日程はお問い合わせ下さい 精神的自立、肉体的な自立を目指し、何者にもブレない自己づくりしていきます		
自立支援事業	テレビカウンセリング 苦しんでいるあなたの気持ちを聴かせて下さい	【随時開催】日程はお問い合わせ下さい 全国の青少年のみなさんご連絡をお待ち致しております		

各講座の詳細は、ちらし・ホームページをご覧ください。事務局に資料をご請求下さい。

財団法人いのちの森文化財団
平成18年度第2回理事会並びに
評議委員会のご報告

去る平成19年3月3日、心と体といのちのセンター水輪（長野県長野市上ヶ屋2471番地2198）に於いて、午後3時より本財団の評議委員会、同4時より理事会が開催され、以下の議案について審議され、活発な議論が交わされ、最終的には全議案とも可決されました。

評議委員会への出席は久保俊宏、飛田航介、山下薫、矢野みさ子、議決書提出は藍原繁樹、木下修、藤田政良の各氏、理事会への出席は塩沢みどり、塩沢研一、鈴木重平、巽信夫、議決書提出は帯津良一、細川佳代子、山本勇人、芳村思風の各氏でした。

また、会の終了後は水輪レストランにて出席役員で具体的な事業内容などについてより具体的な意見交換を致しました。評議委員会、理事会の内容は以下の通りです。

財団法人いのちの森文化財団
第2回評議委員会

評議委員会開催にあたり、互選により、山下薫が議長に就き議事を進める。議長により、議事録は久保俊宏に指名、拍手により承認される。

・第1号議案「平成18年度事業計画修正案の件」
事前配付資料に基づき副理事長の塩沢研一により説明、質疑を求め、賛否を問う。賛成多数により承認。

・第2号議案「平成18年度事業予算書の案の件」
事前配付資料に基づき副理事長の塩沢研一により説明、質疑を求め、賛否を問う。賛成多数により承認。

・第3号議案「特別基金募集開始の件」
事前配付資料に基づき副理事長の塩沢研一により説明、質疑を求め、賛否を問う。賛成多数により承認。

財団法人いのちの森文化財団
第2回理事会

理事会開催にあたり、理事長挨拶後、理事が議長に就き（寄附行為第29条）議事を進める。議事録は久保俊宏に指名、拍手により承認される。評議委員会議長を務めた山下薫に評議委員会での審議報告を受け議事審議に入る。

・第1号議案「平成18年度事業計画修正案の件」
事前配付資料に基づき副理事長の塩沢研一により説明、質疑を求め、議決書提出者の山本氏から講師の肩書き修正の提案、事業計画・予算決算書の期間についての修正提案が出る。また、鈴木氏より講座回数修正の提案があり、これらの提案を反映させることと合意に至る。その上で議案の賛否を問う全員賛成により承認。

・第2号議案「平成18年度事業予算書の案の件」
事前配付資料に基づき副理事長の塩沢研一により説明、質疑を求め、鈴木氏より特別基金は募集目標金額を設定する必要があり、2,500万円という提案が出て、今後2年間で、青少年育成センター建設の為、2,500万円を目標金額に設定することと合意に至る。その上で賛否を問う、賛成多数にて承認。

・第3号議案「特別基金募集開始の件」
事前配付資料に基づき副理事長の塩沢研一により説明、質疑を求め、鈴木氏より特別基金は募集目標金額を設定する必要があり、2,500万円という提案が出て、今後2年間で、青少年育成センター建設の為、2,500万円を目標金額に設定することと合意に至る。その上で賛否を問う、賛成多数にて承認。

< 広告 >



待合室
受付

能見医師が5年前から勤務するようになって、

新しい発想を形にすることができるようになったことから、3人揃って「国際アントロポソフィイ医学セミナー」に参加しています。そこから発展して、「日本アントロポソフィイ医学のたの医師会」の事務局を総合診療部で、させていたことになりました。ドイッでアントロポソフィイ医学を学んでいた小林國力医師が今年9月から仲間になり、2007年医学セミナー開催の中心として、事務局が機能することとなりました。また、長野在住の大任裕子看護師による「シユタイナ」に看護を学ぶ「セミナー」を総合診療部で隔月開催していただいています。病院勤務の看護師たちにも一緒に学ぶ場を提供したい、という山本理事長からのメッセージです。

総合診療部は、ホリスティック医学の観点から、人間は心と体がひとつとなっていることを患者様自身が認識できる方法論を、さまざまなアプローチで、わかっていたくように工夫をしています。ホメオパシーやアユルヴェーダの脈診を用いた山本医師の「ほつと」する科、じっくりゆっくりお話を傾聴する金医師の「よく聴く科」、東洋医学の経絡・鍼を用いた能見医師の「痛み」の外來、「石川公子オイリユトミスト」によるオイリユトミー。イギリス、アメリカの認定ヒーラー資格を持つ小児科医平塚医師によるヒーリングや、マイクアップ・セラピーの講習会、太極拳の教室などがあります。保険診療の枠にあてはまらない分野ですので、自由診療ですが、ホリスティック医学・代替療法をもっと身近なものとして提供したいという山本理事長の想いで、普及に努力しています。

また、月に一回の金医師、能見医師による地域の皆様への「お気楽気功体操」も毎回となりました。さらに池川明先生や船越康弘さんの講演会、東福眞弓先生のライアーコンサート開催などを通じて病気の時だけの病院から、元気になるための病院、病気をもちの方も健康な方も集う、癒しの空間としての病院をめざしてまいります。

関心のある方、一度遊びにいらしてください。

(文責 能見)

山本記念病院 連絡先
045-593-2211 (病院代表電話)
045-594-2417 (総合診療部直通)
山本記念病院ホームページ
http://www.yamamoto-kinen.or.jp/

山本記念病院 総合診療部のご案内



自分が入りたいと思える病院を作りたい

私達の病院は、東急東横線の日吉駅から、高台に登ることバスで15分のところにあります。そこは大都市・横浜とは思えない畑の広がるのどかな光景が見られ、その畑のなかに白い教会の尖塔のような避雷針の塔のある、遠くには富士山が見える9診療科目の131床の病院です。山本百合子理事長の父上、故山本善三先生の「自分が入りたいと思える病院を作りたい」という強い信念の基に、1984年創立されました。善三先生は、精神科の病院を、都内で建てていました。森田療法をいち早く取り入れた画期的な病院で、子供の時から患者さんたちとともに生活をしてきた百合子医師は、父上のご遺志を継いで「人を愛し、人を信じ、その精神に共鳴する人々によって運営される病院」を、この地に頑張っています。

さて、具体的にはどういう運営になるのか。日々の臨床に生かす方法を模索するなかで、シユタイナーに出会い、そして皆様との出会いがあり、アントロポソフィイ医学との強い結びつきを得ました。総合診療部には、気の医学で、上記の精神に共鳴した、金医師、能見医師が5年前から勤務するようになって、